

竹光 唯至さん (バドミントン指導 / 山口県柳井市)



【経歴】(2025年4月現在)

- 2007年 日本体育大学体育学科 卒業
- 2011年 山口県立柳井商工高等学校 勤務
同校バドミントン部監督就任
- 2013年 国民体育大会(少年女子)監督
- 2023年 教育庁学校安全・体育課指導主事[柳井市派遣]勤務

【受賞歴ほか】

- 2015年 国体栄誉賞
- 2017～2019年 国体栄誉賞
- 2022～2024年 国体栄誉賞
- 2021～2024年 メダル栄光(県)
- 2024年 米山稔賞(ヨネックススポーツ振興財団)

【指導歴(主な国内・国際大会での優勝)】

- 2019年 韓国ジュニアオープン U19 女子複 優勝
- 2020年 ドイツジュニア 女子単 優勝
全国高校選抜 女子団体 優勝・女子単 優勝
全国高校総体 女子団体 優勝・女子複 優勝
- 2021年 全国高校総体 女子団体 優勝
- 2022年 全日本ジュニア 女子単 優勝
全国高校選抜 女子団体 優勝・女子単 優勝
クロアチアヴァラマルジュニア 女子単 優勝・混合複 優勝
ブルガリアジュニアオープン 女子単 優勝
世界ジュニア大会 女子単 優勝
- 2023年 国民体育大会 少年女子 優勝
全国高校総体 女子団体 優勝・女子単 優勝
全国高校選抜 女子団体 優勝・女子複 優勝
世界ジュニア大会 女子複 優勝
- 2024年 国民体育大会 少年女子 優勝
全国高校総体 女子団体 優勝・女子単 優勝
全日本総合選手権 女子単 優勝
- 2025年 全国高校選抜 女子団体 優勝

竹光唯至氏は、2011年に山口県立柳井商工高等学校に赴任して以来、バドミントン部監督として、常に全国大会出場を果たすなど、その優秀な指導力を発揮し、2021年3月には、全国高等学校選抜バドミントン大会女子団体が初優勝し、続く同年夏の全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会でも女子団体優勝、以降、2025年の高校選抜まで女子団体が5年にわたり9回連続の優勝に導き、公立高校を全国の強豪校へと押し上げている。

また、2013年からは、国民体育大会(バドミントン競技少年女子)の監督に就任し、2017年に準優勝、2023年に初優勝(山口県初)、2024年には連覇という快挙を成し遂げ、山口県のバドミントン競技力向上に大きく貢献している。

さらに、公益財団法人日本バドミントン協会の強化U19ナショナルチームのコーチとして、世界で勝てる選手の育成・強化に力を注いでいる。これまで数々の国際大会に帯同し、2019年U19韓国ジュニアオープン大会では、女子ダブルス優勝、2020年ドイツジュニア大会では、女子シングルス優勝、2022年世界ジュニア大会では、女子シングルス優勝、2023年世界ジュニア大会では、女子ダブルス優勝に導くなど日本代表として世界で活躍できる選手を育成しており、その指導力は全国で高い評価を受けている。

同氏は、現在、小学生・中学生を含めたジュニア育成においても指導力を発揮しており、今後、国内外で活躍する選手のさらなる育成が期待できる。

受賞の言葉

この度は、エネルギースポーツ賞という輝かしい賞を頂戴し誠に光栄に思います。この賞を頂けたのは、今いる選手の努力はもちろんですが、これまでの卒業生やスタッフ、学校、保護者、地元柳井市の方々の支えがあってこそだと思いません。関わっていただいたすべての人に感謝です。本当にありがとうございます。

チームの合言葉は「柳井から世界へ～チャレンジを楽しもう～」です。人口3万人にも満たない小さな町ですが、この柳井市に夢を抱いて、大きな目標を持ってたくさん子どもたちが来ます。現部員、卒業生ともに世界の舞台で戦う選手がたくさんいますが、この中から2028ロサンゼルスオリンピックをはじめ、多くの大会で活躍し、次を担う子どもたちに夢や目標を与え、多くの人に感動を与えてくれると信じています。私自身もこれからも選手と目標を共有し、一緒に人として成長できるよう日々精進していきたいと思えます。

そして今後、バドミントンだけでなく、多くの人が夢や目標を堂々と語り、チャレンジすることを楽しめる、そんな人が溢れる町にできるようバドミントンを通しての「人づくり」ができたと思えます。



2021高校総体女子団体 初優勝
(柳井商工)



2022高校総体 女子ダブルス 初優勝
(明地選手・田口選手)



2023高校総体 女子シングルス 初優勝
(宮崎選手)